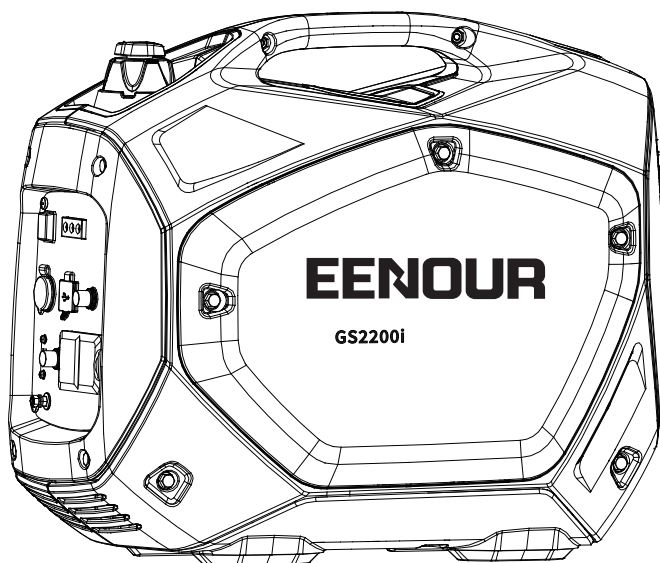


# EENOUR



## インバーター発電機GS2200i

ユーザーマニュアル



**ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。**

このたびはEENOUR発電機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、お買いあげ販売店にお気軽にお申しつけください。

## 目次

安全にご使用いただくため .....	01
製品説明 .....	02
運転前点検 .....	05
操作 .....	06
定期点検 .....	09
トラブルシューティング .....	11
保管方法 .....	11
製品仕様 .....	12
保証について .....	13

## ⚠ 警告

本機使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、十分に理解してください。

# 1. 安全にお使いいただくために

## 1) 排気ガスは非常に危険です

・換気の悪い場所で運転しないでください。短時間でも意識を失い死亡する可能性があります。必ず換気の良い場所でご使用ください。

## 2) 燃料は可燃性が高く有毒です

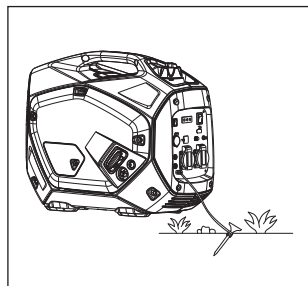
- ・給油時は必ずエンジンを停止してください。
- ・喫煙中や燃焼物のそばで補給しないでください。
- ・給油時はエンジンやマフラーなどに燃料をこぼさないように注意してください。
- ・燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、目に入った時は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・燃料が衣服や肌に付着した時は、すぐに石鹼と水で洗い流し、着替えてください。
- ・本機を操作・輸送するときは、平らな場所で垂直になっていることを確認してください。傾くと燃料タンクから燃料がこぼれる出る可能性があります。

## 3) エンジン・マフラーは非常に高温になる場合があります

- ・子供の手が届かない場所でご使用・保管してください。
- ・運転中は排気口の近くに物を置かないでください。
- ・本機を建物やそのほかの機器から最低1m以上離してください。
- ・ダストカバーをかけたまま運転しないでください。
- ・本機は必ず持ち運び用のハンドルを持ってください。
- ・本機は必ず平らな場所に置いてご使用ください。

## 4) 感電防止について

- ・雨や雪の中で運転しないでください。
- ・濡れた手で本機に触れないでください。
- ・本機を必ず接地(アース)してください。



## 注意:

十分な電流容量のアースリードを使用してください。

直径:0.12mm/A

## 5) 接続について

- ・本機を商用電源に接続しないでください。
- ・本機を他の発電機と並列接続しないでください。

## 安全マーク



注意



危険



可燃性

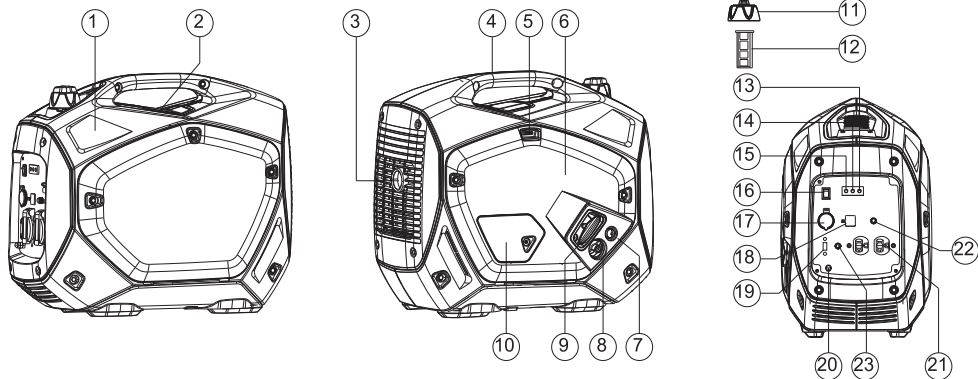


高温:触れるな

## 2. 製品説明

### 名称

(1) 燃料タンク	(2) スパークプラグ	(3) マフラー
(4) キャリーハンドル	(5) チョークカバー	(6) エアークリッター
(7) プライマervalブ	(8) 燃料コック	(9) リコイルスターター
(10) オイルフィルターキャップ	(11) 燃料タンクキャップ	(12) 燃料フィルター
(13) ACパイロットランプ	(14) 過負荷表示灯	(15) オイル警告灯
(16) エコスイッチ	(17) DC 12V 出力	(18) USB 出力
(19) 周波数切替スイッチ	(20) 接地(アース) 端子	(21) AC 出力
(22) DC プロテクター	(23) ACプロテクター 20A	



### 1) オイル警告灯

オイルレベルが低レベルラインを下回るとエンジン自動的に停止します。  
オイル補給すると再起動可能です。

### 2) エンジンスイッチ

エンジンスイッチはイグニッションシステムをコントロールします。

#### ① ON (運転)

点火回路がONになっています。エンジンが始動可能です。

#### ② OFF (停止)

点火回路がOFFになっています。エンジン始動できません。

### 3) エコノミーコントロールスイッチ

エコノミーコントロールスイッチがオンになると接続負荷に応じて、エンジン速度を制御します。

その結果、燃費の向上や騒音レベルの低下につながります。

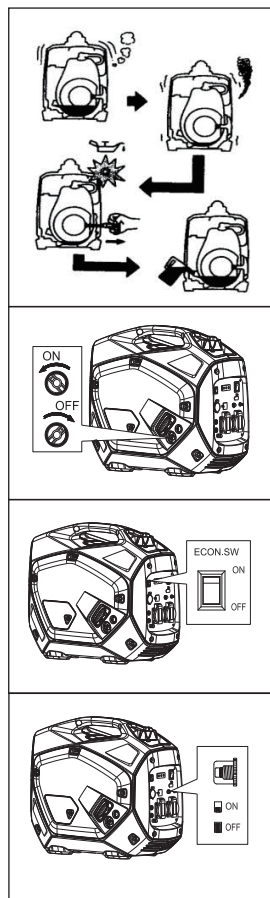
### 4) DCプロテクター

DCプロテクタはモータの過熱保護装置付きのスイッチです。

過電流や過電圧状態が長く続き温度が高くなったような場合、過熱保護機能により出力を遮断し、破壊を防ぎます。

#### 注意:

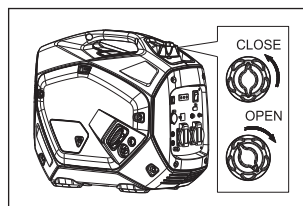
- DCプロテクタボタンがOFF(断)になった場合は、使用する電気機器は発電機の定格出力内に減らしてください。ボタンを押してON(入)になったら、エンジンを再起動します。



## 燃料タンクキャップ・エアベントノブ

燃料タンクのキャップには、燃料の流れを止めるための空気抜きノブがついています。

エアベントノブは『閉』位置から時計回りに1回転回すと燃料がキャブレターに流れ、エンジンを始動することができます。エンジンを使用しないときは、通気口のノブを半時計回りに締めて、燃料の流れを止めます。



## 3. 操作前確認

### 注意:

- ・ 本機を操作する前に必ず点検を行ってください

### 1) エンジン燃料の確認

タンクに十分な燃料があることを確認してください。

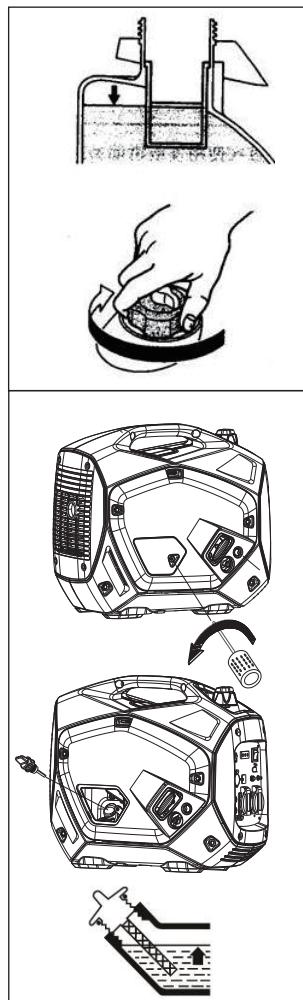
- ・ 燃料が少ない場合は、無鉛ガソリンを補給してください。
- ・ 燃料フィルターネックの燃料フィルタースクリーンを必ず使用してください。

※燃料:無鉛ガソリン

燃料タンク容量 (参照 12 ページ)

### ⚠ 警告

- ・ エンジン作動中または高温時に燃料補給しないでください。
  - ・ 燃料補給する前に燃料コックを閉じてください。
  - ・ 燃料に汚れ、埃、水等が入らないように注意してください。
- ※燃料がこぼれた時は、必ずエンジンを始動する前に燃料をすべて拭き取ってください。



## 2) エンジンオイルの確認

エンジンオイルが満量であることを確認してください。

必要に応じて、オイルを補給してください。

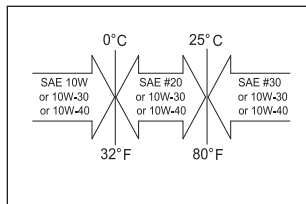
・オイルフィルターキャップの蓋を外し、エンジンオイルの量を確認してください。

オイルレベルが低レベルより低い場合、適量を補給してください。

**オイルタンク容量:**(参照12ページ)

・オイルレベルを確認する際、オイルフィルターキャップをねじ込まないでください。

※オイルが汚れているときは交換してください。

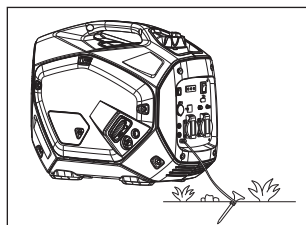


## 接地(アース)

### ⚠ 警告

本機を必ず接地してください。

ワイヤーとスパイクは本機に付属していません。



## 4.操作

### 注意:

- ・本機はエンジンオイルなしで出荷されます。
- ・エンジンオイルを充填しないと起動しません。
- ・エンジンオイルを補給するときに本機を傾けないでください。

### 1) エンジンの始動

### 注意:

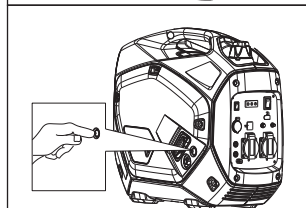
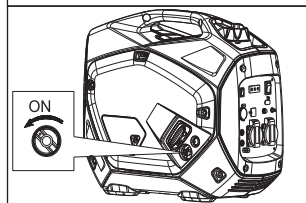
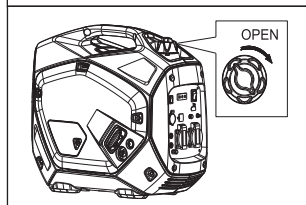
- ・エンジン始動の前に電気製品を接続しないでください。

1. 燃料タンクの通気口を開きOPEN の位置にします。

2. 燃料コックレバーを ON の位置に回します。

3. エンジンスイッチをON の位置にします。

4. 本機を初めて使用する場合、燃料をタンクからキャブレターに送るためには、プライマーバルブを15回ほど連続して押してください。



5. チョークレバーをCHOKE 位置に回します。  
エンジンが暖かい場合は必要ありません。
6. 抵抗を感じるまで、スターターハンドルを ゆっくり引きます。  
ハンドルを元の位置まで戻して素早く引っ張ります。  
ハンドルが元の位置を保持したまま戻るようにします。
7. エンジンを暖めます。
8. チョークレバーを RUN 位置に戻します。  
数分間負荷なしでエンジンを暖めます。

## 2) 電気製品の使用

### 1. AC製品接続

ACパイロットランプを確認します。

本機に接続する前に電気製品のスイッチはOFFにしてください。

電気製品に合うソケットを使用してください。

#### 注意:

- ・接続前に電気製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
- ・合計した負荷出力が、本機の定格出力以内であることを確認してください。
- ・ソケットの負荷電流がソケットの定格電流内であることを確認してください。

### 2. 過負荷表示灯

接続された電気製品の過負荷が検出された場合、インバーターユニットが過熱した場合、AC出力電圧が上昇した場合、過負荷表示灯が点灯します。

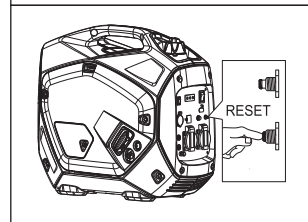
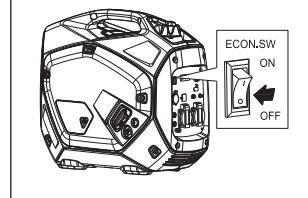
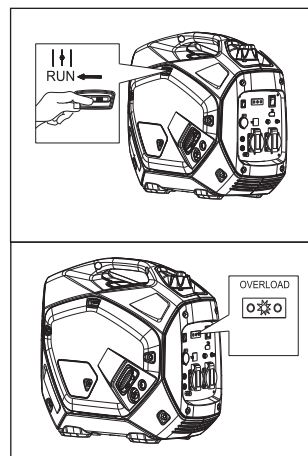
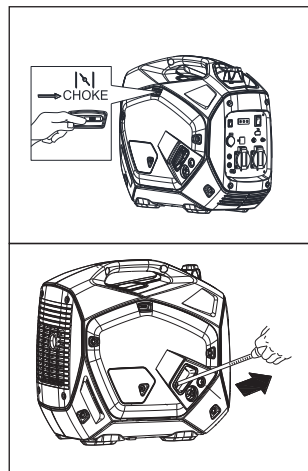
デバイスのパイロットランプが点滅し、過負荷表示灯が点灯し、エンジンが停止します。その場合は下記の手順に従ってください。

(a)接続されているすべての電気製品を全てOFFにしてエンジンを停止してください。

(b)定格出力範囲内で、接続電気製品の合計電力を減らします。

(c)冷却用通気口やコントロールユニットを確認し、つまりがあった場合は取り除きます。

(d)全て確認後エンジンを再起動します。





## 注意:

- ・エンジンが停止してから再起動すると本機のAC出力は自動的にリセットされます。
- ・コンプレッサーや水中ポンプなど大きな起動電力をする場合、最初に過負荷表示灯が数秒間点灯する場合がありますが、これは誤作動ではありません。

### 3. DC アプリケーション(オプション)

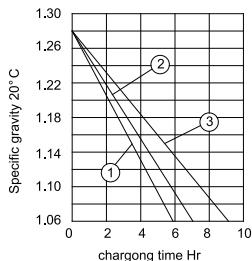
こちらの仕様は12Vバッテリーの充電にのみご使用いただけます。

- ・バッテリーフィルターキャップを完全に緩めます。
- ・バッテリー液が少ない場合は、蒸留水を満水まで入れます。
- ・比重計を使用してバッテリー液の比重を測定し、
- ・右図の表に従って、充電時間を計算します。
- ・完全に充電されたバッテリーは1.26~1.28の比重でなければなりません。

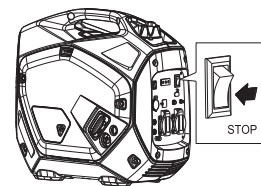
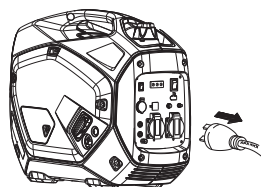
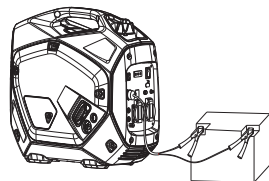
(a)充電リードを使用し、DC出力端子とバッテリー端子を接続します。

(b)DCプロテクターがOFFの位置にある場合、接続を確認した後、DCプロテクターをONに設定します。

Aim for specific gravity and charging time



Battery capacity  
1. 30AH 20HR  
2. 35AH 20HR  
3. 47AH 20HR

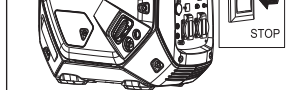
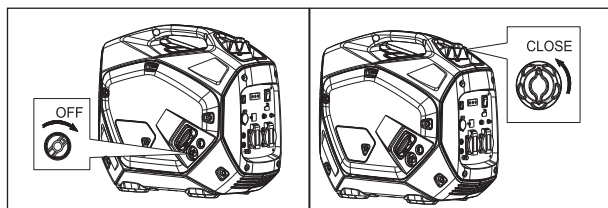


## 注意:

- ・バッテリー充電中はエコノミーコントロールスイッチがOFFになっていることを確認してください。

### 3) エンジン停止

- 1.電気製品のスイッチをOFFにするか、接続を取り外す。
- 2.エンジンスイッチを停止位置に回す。
- 3.燃料コックレバーをOFFに回す。
- 4.燃料タンクキャップのエアVENTノブを半時計回りに回して、『閉』位置にします。



## 5. 定期点検

### 1) 点検表

定期的なメンテナンスは、安全に効率よくご使用いただくために重要です。

種類	備考	操作前(毎回)	初期(1か月・20時間ごと)	3か月ごと/50時間ごと	6か月ごと/100時間ごと	1年ごと/300時間ごと
スパークプラグ	状態を調整し、清掃します。必要に応じて、交換してください。			●		
エンジンオイル	オイルレベルを点検	●				
	交換		●		●	
エアフィルタ	清掃及び必要に応じて交換してください。			●		
燃料フィルタ	清掃及び必要に応じて交換してください。				●	
チョーク	チョーク動作を点検してください。	●				
バルブクリアランス	エンジンが冷えているときに確認・調整してください。					●
燃料ライン	燃料ホースに亀裂や損傷がないか確認・必要に応じて交換してください。	●				
排気	漏れの確認・必要に応じてガスケットを締めなおすか交換してください。	●				
	マフラーを確認してください。					●
キャブレター	チョーク動作を確認してください。	●				
冷却	ファンの損傷を確認してください。					●
起動	リコイルスターターの動作を確認してください。	●				
アイドルリング	エンジンのアイドルリング速度を確認・調整してください。					●
ファスナー/ランクケース	必要に応じて、すべてのファスナー・継ぎ手を確認してください。				●	
空気抜き	ブリーザーホースに亀裂や損傷がないか確認してください。					●
パイロットランプ	パイロットランプが点灯することを確認してください。	●				

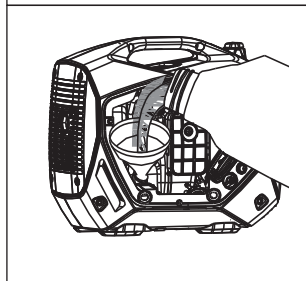
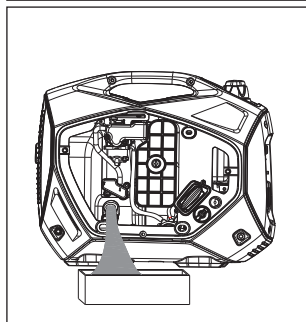
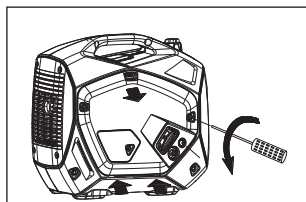
## 2) エンジンオイルの交換

1. 本機を水平に置き、エンジンを数分間暖めます。  
次にエンジンを停止し、燃料コックノブをOFFにします。燃料タンクのエアVENTノブを時計回りに回します。
2. ネジを緩めて、カバーを取り外します。
3. オイルフィルターキャップを取り外します。
4. エンジンオイルの下にパンを置き、本機を傾けて完全にオイルを排出します。
5. 水平面で交換してください。
6. オイルを満量まで追加します。
7. オイルフィルターキャップを取付けます。
8. カバーを取り付けてネジを絞めます。

### • 推奨エンジンオイル (参照:12)

#### 注意:

- クランクケースに異物が入らないようにしてください。
- エンジンオイルを追加するときに本機を傾けないでください。
- 100時間おきにオイルフィルターを清掃してください。



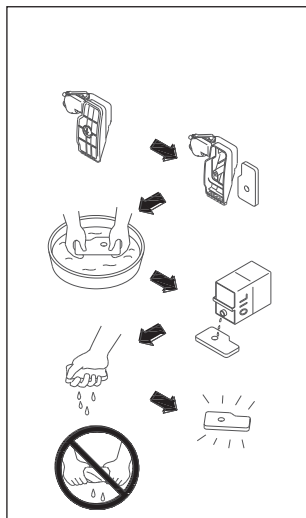
## 3) エアフィルター

エアフィルターを適切な状態に維持することは非常に重要です。不適切な設置や状態により、エンジンの摩耗や損傷を与えることがあります。

1. カバーを取り外します。
2. エアフィルターカバーとエレメントを取り外します。
3. エレメントを溶媒で洗浄し、乾燥させます。
4. エレメントにオイルを塗り、余分なオイルを絞ります。
5. エレメントをエアフィルターに挿入し、カバーを取付けます。

#### 注意:

エンジンはオイルなしでは始動できません。  
ピストンおよびシリンダーが過度に摩耗する可能性があります。



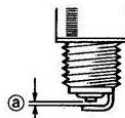
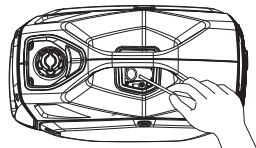
#### 4) スパークプラグの清掃と調整

- 1.カバーを取り外します。
- 2.変色を確認し、カーボンを除去します。
- 3.スパークプラグのタイプとギャップを確認します。
- 4.スパークプラグを取り付けます。
- 5.カバーを取り付けます。

標準電極色: タンカラー

標準スパークプラグ: 12ページを参照

スパークプラグギャップ: 0.6-0.7 mm (0.024-0.028 in)

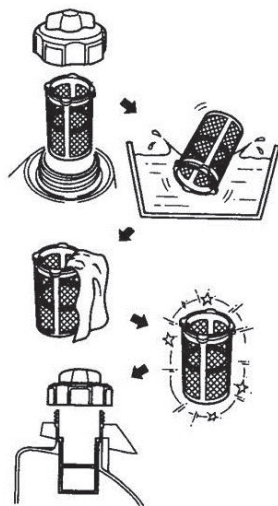


#### 5) 燃料タンクフィルター

- 1.燃料タンクのキャップとフィルターを取り外します。
- 2.溶剤でフィルターを清掃します。破損している場合は、交換します。
- 3.フィルターを拭いて挿入します。

##### ⚠ 重要

タンクキャップがしっかりと締められていることを確認してください。

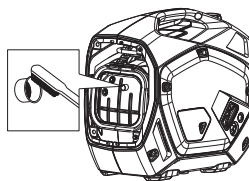
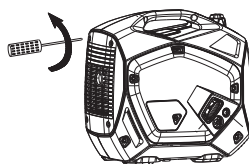


#### 6) マフラー

##### ⚠ 重要

- エンジンが作動すると、エンジンとマフラーは非常に高温になります。
- 検査中または修理中に、エンジンやマフラーが熱いうちに身体や衣服の一部に触れないようにしてください。

- 1.カバーを取り外します。
- 2.マフラー画面を取り外します。
- 3.マイナスドライバーを使用して、マフラーからスパークアレスターを取り出します
- 4.ワイヤーブラシを使用して、マフラースクリーンとスパークアレスターの炭素堆積物を取り除きます。
- 5.マフラースクリーンを取り付けます。
- 6.カバーを取り付けます



## 6. トラブルシューティング

### 1) エンジン始動できない

#### 1. 燃料システム

燃焼庫に燃料が供給されていません。

- タンクに燃料がありません…燃料を補給します。
- タンク内の燃料…。燃料タンクキャップのエアVENTノブを開き、燃料コックノブをオンにします。
- 燃料ラインの詰まり…。燃料ラインを清掃します。
- キャブレターの詰まり…。キャブレターを清掃します。

#### 2. エンジンオイルシステム

不十分

- オイルレベルが低い場合はオイルを追加します。

#### 3. 電気システム

火花不足

- 点火プラグがカーボンで汚れているか、濡れている。
- カーボンを取り除くか、点火プラグを拭いて乾かします。
- 点火システムの故障…。販売店にご相談ください。

#### 4. 圧縮不足

- ピストンとシリンダーが摩耗している…。販売店にご相談ください。

### 2) 発電しない

安全装置DCプロテクターはON(入)を押して、エンジンを再起動します。

## 7. 保管方法

機械の長期保管には、劣化を防ぐための予防措置が必要です。

### 1) 燃料ドレイン

1. 燃料タンクのキャップを取り外し、燃料タンクから燃料を排出します
2. カバーを取り外し、ドレインねじを緩めてキャブレターから燃料を排出します。

### 2) エンジン

1. スパークプラグを取り外し、SAE 10W30または15W40モーターオイル大さじ約1杯をスパークプラグの穴に注ぎ、スパークプラグを再び取り付けます。
2. リコイルスターターを使用して、エンジンを数回回転させます。(イグニッションをオフにして)。
3. 圧縮を感じるまでリコイルスターターを引っ張ります。
4. 引っ張るのを停止します。

5. 発電機の外側を清掃し、防錆剤を塗布します。
6. 換気の良い乾燥した場所に発電機を保管し、その上にカバーをかけます。
7. 発電機は垂直に保管する必要があります。

## 製品仕様

品番		GS2200i
発電機	タイプ	インバーター発電機
	AC出力	100V
	周波数	50/60Hz
	最大出力	2.0 kW
	定格出力	1.8 kW
	力率	1.0
	DC出力	12V / 4.0A 5V / 1A 5V / 2.1A
エンジン	型番	XY156F / SY156F
	タイプ	空冷式・4サイクルエンジン・OHV
	ボア*ストローク mm*mm	56×46
	排気量	114 cc
	最大出力	2.5kW / 4500rpm
	燃料	無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	4.1L
	連続運転時間	3.2h(100%)4.9h(50%)
	オイル	SAE 10W30
	オイルタンク容量	0.52 L
	スタート方式	リコイルスタート
	点火方式	C.D.I.
	プラグタイプ	A5RTC (TORCH)
サイズ	製品サイズ	525×282×440 mm
	梱包サイズ	555×320×465 mm
	正味重量	19.0 Kg
	総重量	21.5 Kg

※仕様は予告なしに変更される場合があります。

## 保証期間およびお問い合わせ

- 本製品の保証期間はご購入より1年間となります。
- 本製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
- 本製品は使用電子部品の製造中止で、生産及び販売終了となる場合があります。予めご了承ください。
- 本製品のお問い合わせについて、故障など疑われる場合は、次のことをご知らせ下さい。
  - ・ お買い上げ時期
  - ・ ご注文番号と商品の型番
  - ・ 故障の状況（できるだけ詳しくご説明ください。）
- ご不明な点や故障に関するご相談は、ご購入の販売店、または下記営業窓口にお問い合わせください。

輸入総発売元：株式会社MK JAPAN

電話：050-4560-1179

メール：support@eenour.com

受付時間：10：00-13：00、14：30-18：30（土・日曜、祝祭日・年末年始および当社指定休業日は除く）

✉ E-mail: support@**eenour**.com

